



函南町立西小学校

学校だより

令和7年度 第3号

いきいき  
西っ子



学校教育目標 いきいき 西っ子 ～重点目標 思いやりの気持ちでかかわろう～

## 運動会の成功から ～自分で決める～

校長 高橋敏子

5月24日(土)に運動会が行われました。今年のスローガンは「仲間とともに 力を合わせて西っ子 笑顔のバトンパス」でした。みんなで力を合わせることでよりよい運動会をつくり上げていこうという思いが込められました。当日はそのスローガン通り、子供たちがそれぞれの場面で輝き、笑顔あふれる運動会となりました。

今年の運動会に向けたテーマは「仲間づくり」でした。そのため、新たな取組として①子供による運営のための係活動をなくす②「仲間づくり」のための、児童の発想やアイデアを学級や学年で積極的に取り入れる③代表児童が「意気込み」を発表することを実施しました。これまでのように高学年の係活動がありませんので、学級・学年練習に集中できます。仲間づくりに没頭することができるのです。どの学年も練習や作戦会議に余念がなく本番におけてすごい集中力でした。

ある日の昼休みのことです。大きなエールの声が聞こえてきました。翌日からはその声が日に日に大きくなり、太鼓の音と共に校舎中に響き渡るようになりました。6年生が自主的に応援団を結成し、それを見た下級生たちのちびっ子応援団の輪が自然に広がっていったのです。学級や学年の垣根を越えて、「全校のみんなを応援したい!がんばるみんなにエールをおくりたい!」という6年生の思いが、全校児童の心をつなげてくれたのです。

西小学校の目指す子供像の一つに「学びをデザインする子」があります。学びをデザインしていくためには「自分で決める」ことが大切になります。子供は自分の考えをもち、自分で選択をすることで主体的に行動する力を身につけることができます。自分の気持ちを理解し、どうしたいのかを決めることで、子供は意欲をもって困難に向き合い、乗り越える力を育んでいきます。今回の運動会では、自分たちで考えた役割を最後までやり遂げたことで大きな達成感を味わうことができた、そんな子供たちの成長した姿がたくさん見られました。頼もしく感じています。

子供が自己決定するためには「子供を信頼し、尊重すること」が不可欠です。親や教師などの大人が「心配だから」と先回りして決めてしまうのではなく、子供の声に耳を傾けることを大切にしていきたいものです。

